



未上場企業を組入れた投資信託

“ひふみクロスオーバーpro”

～未上場企業への投資の現状～

2025年9月7日

●設定・運用は

レオス・キャピタルワークス株式会社



金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

1. 自己紹介

2. クロスオーバー投資とは？

3. ひふみクロスオーバーpro

1

自己紹介

自己紹介



松本 凌佳 まつもと りょうが

小型株式戦略部 ファンドマネージャー

2022年3月 東京大学 経済学部 経済学科 卒業（学士）

2022年4月 レオス・キャピタルワークス入社

2024年9月から「ひふみクロスオーバーpro」の運用を担当する。

2

クロスオーバー投資とは？

未上場企業とは？

未上場企業

- 日本企業の9割以上は未上場企業
- 玉石混交で目利きが必要



個人では投資が難しい

主な投資家層：エンジェル投資家*1、VC *2

上場企業

- 日本に約4000社
- 一定の社会的信用や管理体制



証券取引所

誰でも投資ができる

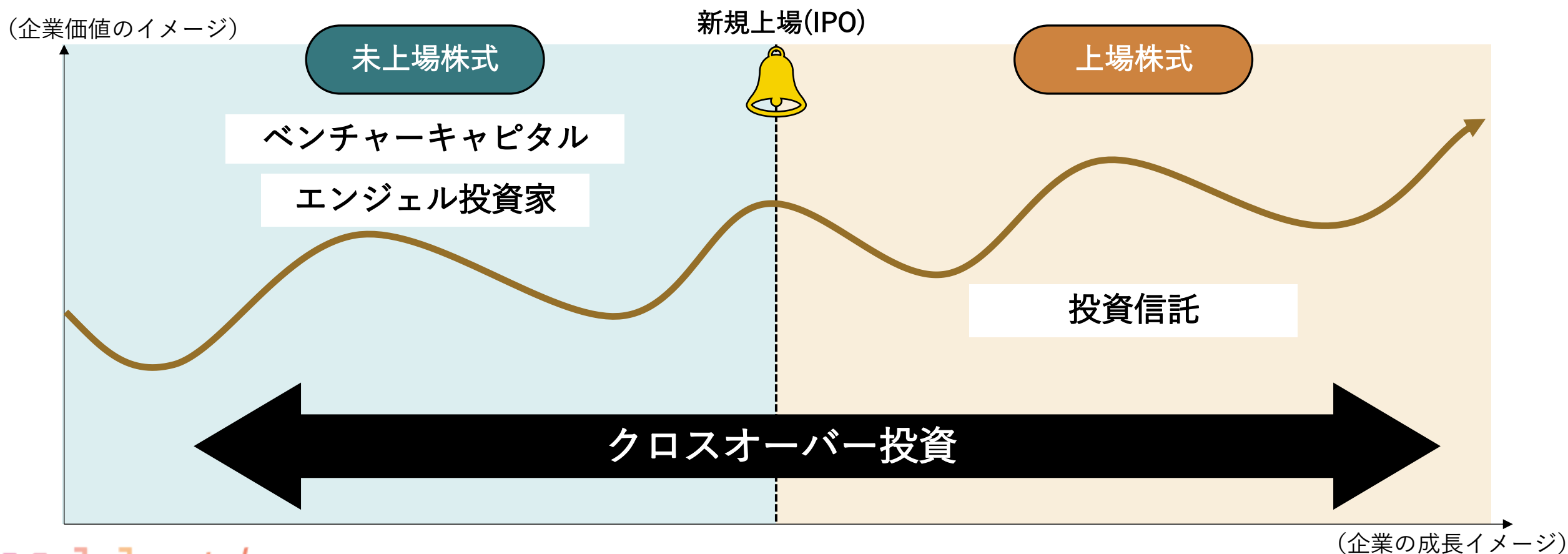
主な投資家層：個人投資家、機関投資家

*1 起業して間もない企業に資金を出資する投資家

*2 未上場の新興企業（ベンチャー企業）に出資して株式を取得し、将来的にその企業が株式を上場した際に株式を売却し、大きな値上がり益の獲得を目指す投資会社や投資ファンド

クロスオーバーとは？

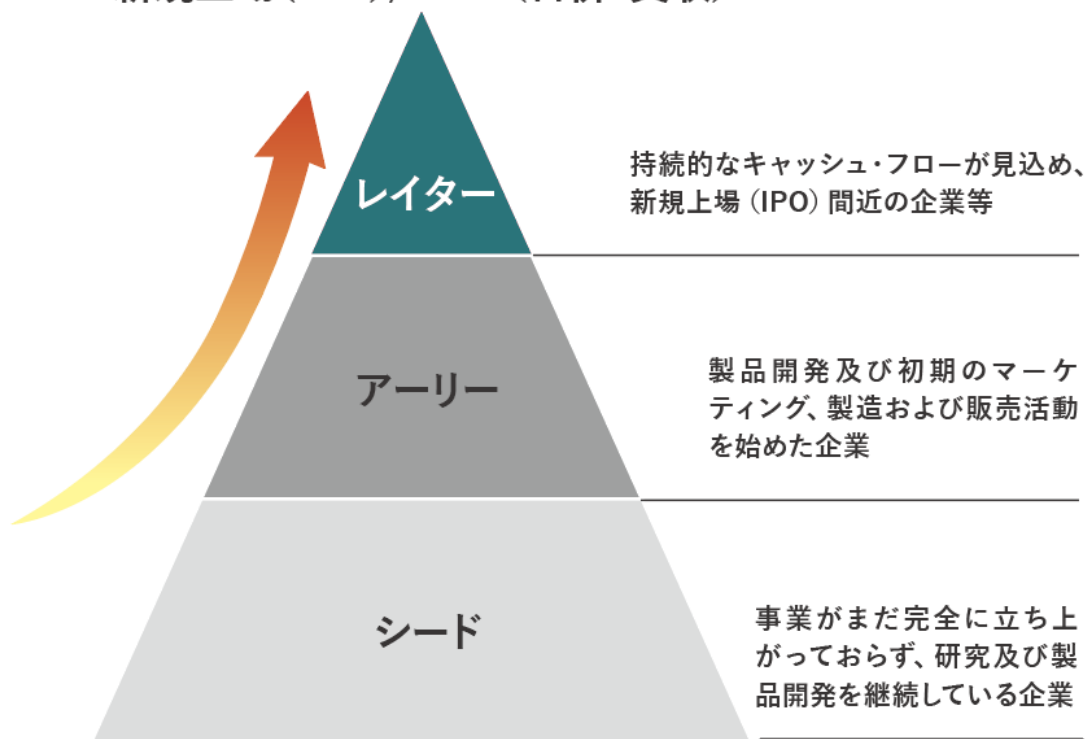
- クロスオーバーとは、特定の分野の境界を越えて、異なる分野と組みあわせて新しい物事を創り出すことを意味します。
- 投資の世界では、未上場/上場の境界を越えた投資のことを「クロスオーバー投資」と呼びます。



未上場企業のレイターステージに注目

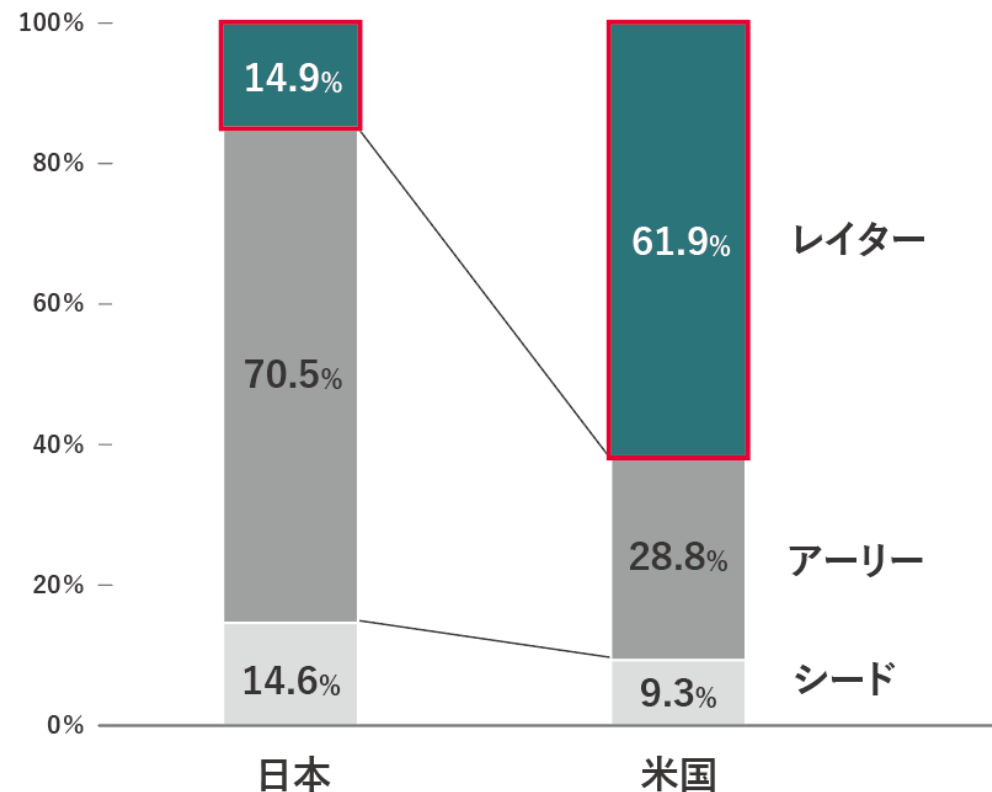
未上場企業の成長ステージ

新規上場(IPO)/M&A(合併・買収)



※上記は未上場企業の成長ステージの説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。

日米のベンチャーキャピタル投資先（ステージ別）



出所：一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書2023」掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

※米国（2022年）のレイター期は出所の分類のうち「レイター」・「ベンチャーグロース」期を合計した値

※日本（2022年度）のアーリー期は出所の分類のうち「アーリー」・「エクспанション」期を合計した値

3

ひふみクロスオーバーpro

ひふみクロスオーバーpro 3つの特長

① 主に成長が期待できる未上場企業と上場企業に投資します

- 未上場・上場の境界を越えたクロスオーバー投資を行ないます。
- 実質的に未上場株式等を組み入れる「ひふみクロスオーバーマザーファンド」と、主に日本の成長企業に投資を行なう「ひふみ投信マザーファンド」に投資するファミリーファンド形式で運用を行ないます。未上場株式への投資は当社の関連会社であるレオス・キャピタルパートナーズが運用する「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて行ないます。

② 足で稼いだ情報で成長企業を発掘します

- 「定性」「定量」の両面から徹底的な調査・分析を行ない、どのような投資環境でも独自要因で成長を遂げる企業を発掘します。

③ 顔が見える運用

- ファンドマネージャーやアナリストの「顔が見える運用」を取り入れ信頼の向上を目指しています。

企業の成長ステージとひふみクロスオーバーproの投資対象



シード/アーリーステージ



上場間近の
レイターステージ企業

IPO



上場企業

利益
キャッシュフロー

赤字／不安定

黒字・黒字に近い／安定

黒字

監査法人／
証券会社の選定

未選定

選定済み

選定済み

上場までの期間

未定～数年以上

1～3年内の上場を目指す

完了

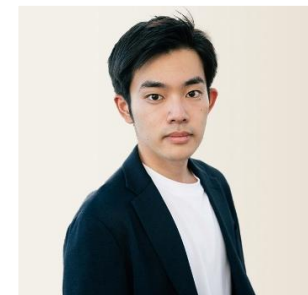
主な投資家

エンジェル投資家*1／VC*2

ひふみ
M&A
ひふみクロスオーバー / pro

私たちが選ぶのは、実力と成長性を兼ね備えた
“スタートアップ企業”

- スタートアップ企業発掘のため、数百社の未上場企業を面談・調査。シード、アーリー段階の未上場企業もウォッチしています。
- 投資先の選定には藤野の他、藤野に才能を買われ抜擢された松本も担当します。未上場企業の経営者は若い方が多く、同じ目線で話すことができる事が松本の強みの1つです。



小型株式戦略部
ファンドマネージャー
松本 凌佳

*1 起業して間もない企業に資金を出資する投資家

*2 未上場の新興企業（ベンチャー企業）に出資して株式を取得し、将来的にその企業が株式を上場した際に株式を売却し、大きな値上がり益の獲得を目指す投資会社や投資ファンド

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

特長③ 顔が見える運用



レオス・キャピタルワークス



小型株式戦略部
ファンドマネージャー
松本 凌佳



ひふみクロスオーバーpro
ファンドマネージャー
藤野英人



レオス・キャピタルパートナーズ



投資部 部長
戸田 東宗

投資プロセス

上場株式部分

ひふみ投信
マザーファンド

ひふみクロスオーバー
マザーファンド

運用：レオス・キャピタルワークス株式会社

未上場株式部分

ひふみスタートアップ
投資事業有限責任組合

運用：レオス・キャピタルパートナーズ株式会社

銘柄発掘

銘柄発掘にあたり
未上場企業投資の
実績豊富なSBIイン
ベストメント株式会
社からのサポートを
得る

調査

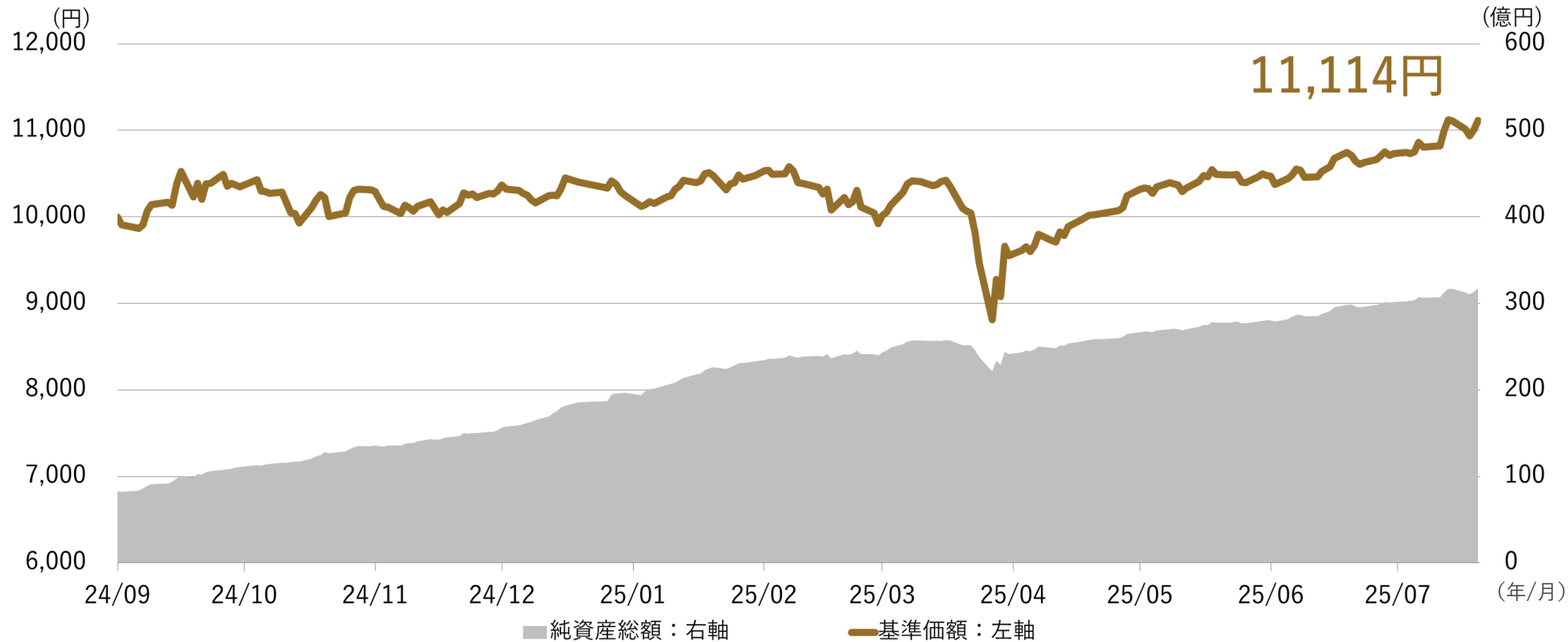
ひふみクロスオー
バーマザーファンド
のアナリストも参加
し、未上場株式が
上場後も継続的に
成長が期待できる
かを評価

選定

決定

ひふみクロスオーバーpro 設定来運用実績 2025年7月末現在

■ 基準価額等の推移



レオス・キャピタルワークス作成。ひふみクロスオーバーpro 設定日の2024年9月12日から2025年7月末までの基準価額と純資産総額を表示。

運用実績

	1 ヲ月	3 ヲ月	6 ヲ月	1 年	3 年	設定来
ひふみクロスオーバーpro	3.44%	10.90%	6.04%	-	-	11.14%

ひふみクロスオーバーpro ポートフォリオ

2025年7月末現在

■ 投資信託財産の構成

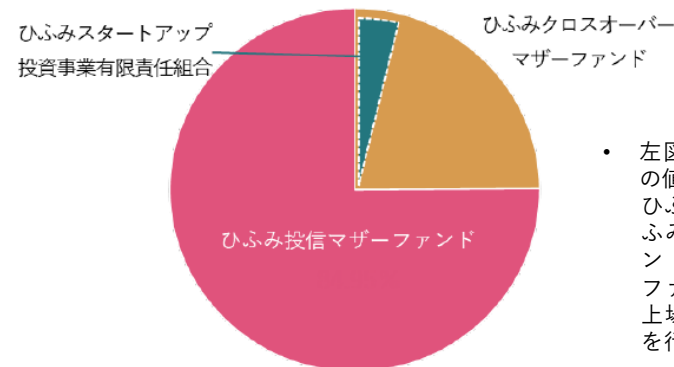
組入資産	組入比率(%)
ひふみ投信マザーファンド	75.20
ひふみクロスオーバーマザーファンド (うち、ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合)	24.92 (3.78)
現金等	-0.12

- ・ 比率は純資産総額に対する比率です。小数点第三位四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

■ 保有上位10銘柄

No.	銘柄コード	銘柄名	組入比率(%)
1	4676	フジ・メディア・ホールディングス	3.56
2	9166	G E N D A	2.54
3	7203	トヨタ自動車	2.50
4	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.43
5	6702	富士通	2.38
6	319A	技術承継機構	2.25
7	6758	ソニーグループ	2.24
8	352A	L O I V E	2.19
9	262A	インターメスティック	2.16
10	6701	日本電気	2.08

【組入資産のイメージ図】



- ・ 左図は「投資信託財産の構成」の値を用いたイメージです。ひふみクロスオーバーproは、ひふみクロスオーバーマザーファンドおよびひふみ投信マザーファンドを通じて、国内外の未上場株式および上場株式に投資を行います。

■ 各種構成比

資産配分比率	(%)
国内株式（上場）	89.83
国内株式（未上場）	3.78
海外株式	3.48
現金等	2.91
市場別比率	(%)
プライム市場	72.43
スタンダード市場	2.38
グロース市場	15.02
その他海外株	3.48
未上場	3.78
現金等	2.91

No.	組み入れ上位10業種	比率 (%)
1	情報・通信業	13.27
2	電気機器	11.35
3	サービス業	10.85
4	銀行業	6.27
5	小売業	5.38
6	機械	5.27
7	卸売業	4.90
8	輸送用機器	4.75
9	建設業	3.67
10	化学	2.90

- ・ 「保有上位10銘柄」「各種構成比」は、純資産総額に対する実質比率です。
 - ・ 表記の値については小数点第三位を四捨五入して表示。各種構成比では合計が100%にならない場合があります。
 - ・ 「市場別比率」において、海外株式は「その他海外株」として表示。「組み入れ上位10業種 比率」は、未上場株式を除く国内株式における上位業種について、東証33業種分類を用いて表示。
- ※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ひふみクロスオーバーpro 直近10ヵ月の資産構成と保有銘柄推移

2024年9月末

■資産構成

国内株式（上場）	85.03%
国内株式（未上場）	2.01%
海外株式	4.00%
現金等	8.96%

■組入上位10銘柄

No.	銘柄	銘柄名	比率
1	3498	霞ヶ関キャピタル	2.50 %
2	5892	y u t o r i	1.92 %
3	9101	日本郵船	1.89 %
4	6702	富士通	1.48 %
5	5631	日本製鋼所	1.34 %
6	8316	三井住友フィナンシャルグループ	1.33 %
7	8591	オリックス	1.27 %
8	9552	M & A 総研ホールディングス	1.26 %
9	GS	THE GOLDMAN SACHS GROUP, INC	1.25 %
10	6762	T D K	2.14 %
上位10銘柄合計			15.49 %

2025年7月末

■資産構成

国内株式（上場）	89.83%
国内株式（未上場）	3.78%
海外株式	3.48%
現金等	2.91%

■組入上位10銘柄

No.	銘柄	銘柄名	比率
1	4676	フジ・メディア・ホールディングス	3.56 %
2	9166	G E N D A	2.54 %
3	7203	トヨタ自動車	2.50 %
4	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.43 %
5	6702	富士通	2.38 %
6	319A	技術承継機構	2.25 %
7	6758	ソニーグループ	2.24 %
8	352A	L O I V E	2.19 %
9	262A	インターメスティック	2.16 %
10	6701	日本電気	2.08 %
上位10銘柄合計			24.32 %

- 各比率は、純資産総額に対する実質比率です。資産構成は小数点第三位を四捨五入して表示しているため合計が100%にならない場合があります。
- 「組入上位10銘柄」は、未上場株式を除いた上位銘柄を表示しております。

ひふみクロスオーバーマザーファンド ポートフォリオ

2025年7月末現在

保有上位5銘柄

計23銘柄

No.	銘柄コード	銘柄名	組入比率(%)
1	319A	技術承継機構	9.02
2	352A	L O I V E	8.81
3	262A	インターメスティック	8.66
4	9166	G E N D A	8.53
5	9556	I N T L O O P	7.04

ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合の投資銘柄

投資開始年月	銘柄名
2025/4	イノバセル
2025/3	ベター・プレイス
2024/12	IDOM CaaS Technology
2024/9	五常・アンド・カンパニー

各種構成比

資産配分比率	(%)
国内株式（上場）	75.22
投資事業有限責任組合	15.17
現金等	9.62

市場別比率	(%)
プライム市場	19.75
スタンダード市場	1.55
グロース市場	53.92
未上場	15.17
現金等	9.62

No.	組み入れ上位5業種	比率 (%)
1	サービス業	28.81
2	情報・通信業	16.53
3	小売業	10.70
4	金属製品	9.02
5	陸運業	6.33

- 各比率は、純資産総額に対する比率です。
- 「保有上位5銘柄」「組み入れ上位5業種 比率」は国内株式における上位を表示。業種は東証33業種分類を用いて表示。

未上場企業の五常・アンド・カンパニー株式会社へ出資

- 五常・アンド・カンパニーは「金融包摂を世界中に届ける」ことをミッションに、途上国において中小零細事業向けの小口金融サービス(マイクロファイナンス)を展開する企業。

≡ Gojo & Company, Inc.



慎 泰俊 代表執行役

民間版の世界銀行をつくるため、14年7月に五常・アンド・カンパニーを創業し、発展途上国で低所得層に金融サービスを提供している。前職はモルガン・スタンレー・キャピタルとユニゾン・キャピタル。朝鮮大学校と早稲田大学大学院卒。単著9冊。日英韓トライリンガル。18年世界経済フォーラムのヤング・グローバル・リーダーに選出。囲碁六段、空手黒帯、本州縦断1648km完走。週末のプロジェクトとしてロゴデザインやポートレート写真撮影にも従事。認定NPO法人Living in Peaceおよび日本児童相談業務評価機関を共同設立。

慎代表執行役からのメッセージ

レオスの藤野さんと知り合ったのは15年以上前のことですが、今回このようにご縁をいただけたことを大変うれしく思っています。金融サービスを世界に届けるために、より多くの資金を必要としている当社にとって、上場後も株を保有し続けて頂きやすいクロスオーバー投資家に参加頂けることは本当にありがたいことです。これからもミッション達成のために力を尽くします。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

未上場企業の株式会社IDOM CaaS Technologyへ出資

イドム カース テクノロジー

- IDOM CaaS Technologyは「マイ・カーライフを、すべての人に。」ことをミッションに、独自の与信システムを活用し、柔軟なカーライフを提供しています。

IDOM
CaaS
Technology



代表取締役社長 山畑 直樹

1984年生まれ（40歳）、北海道出身。

2006年、青山学院大学法学部を卒業後、ガリバーインターナショナル（現：株式会社IDOM）に入社。営業や内部統制対応の担当を経て、買取ガリバーから販売ガリバーへのリブランディングを担当。2011年以降は、中古車販売事業やデジタル戦略の立ち上げを主導し、現在IDOMの売上の多くを占める現在のガリバー事業の中核構築を担当。2018年にサブスクリプションサービス「NOREL」の責任者に就任。2020年に事業継承を行い、IDOMから独立した株式会社IDOM CaaS Technologyの代表取締役に就任

山畑代表取締役社長からのメッセージ

2020年代に入り、暮らしや価値観が目まぐるしく変化する中、クルマと人との付き合い方も新たな形を求められています。先の読めない経済変動、多様化するライフスタイル、そして広がる所得やエリアの格差——私たち IDOM CaaS Technology は、これらの課題に向き合い、「乗りたい、を叶える。乗れない、をなくす。」という考えのもと、より良いカーライフの創造を目指しています。

このご縁を契機に、変わり続ける時代に寄り添いながら、テクノロジーと情熱でドライバーの未来を支え、より豊かなカーライフを実現するために、私たちはこれからも挑戦し続けます。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

未上場企業の株式会社ベター・プレイスへ出資

- ベター・プレイスは「ビジネスを通じて、子育て世代と子どもたちが希望を持てる社会をつくる。」をミッションに、確定給付型の企業年金制度「はぐくみ企業年金」の導入・継続支援を行なっている企業。



代表取締役社長 森本 新士

アリコジャパンを経て、スカンディア生命にて長期投資の可能性を学び、2007年に独立系の運用会社を起業するも、力不足でお金が集まらず、自ら設立した会社を追い出される。痛恨の想いを糧に、2011年に株式会社ベター・プレイスを創業。

2018年に市井の人たちの資産形成を企業年金DXを通じて応援したいと「はぐくみ企業年金」を設立。同基金は設立約7年で加入者数8.8万人*1・資産残高393億円*2を突破するまでに成長。公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員、1級DCプランナー

*1 2025年3月時点実績、*2 2025年1月時点実績

森本代表取締役社長からのメッセージ

この度は、藤野さん、松本さんをはじめとするみなさまが運用するひふみクロスオーバーproを通じてベター・プレイスへご出資を戴き、ありがとうございます。

私は大学卒業以来、ずっと金融業界に身を置いていて、そのような人間にとって藤野さんはとても輝かしい存在でした。30代の頃、小さな運用会社を立ち上げたのですが、当時は全然お金が集まらず会社を追い出された経験があり、その頃の経験を当時からご存じの藤野さんは、我々に投資するか否かを決定する最後の投資委員会で、「森本さん、根性で頑張ったね!」と声をかけてくれ、その言葉に思わず涙がこぼれました。私たちは、2011年の創業以来、「子育て世代と子どもたちが希望を持てる社会をつくる。」を理念に掲げ、市井（しせい）に暮らす方々の資産形成を企業年金を通じて応援しており、この一貫した取り組みをご評価いただけたのだと思います。

これからもその志をぶらさず、事業に邁進して参ります。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

未上場企業の株式会社IDOM CaaS Technologyへ出資

- イノバセルは2000年にオーストリアのインスブルック医科大学からスピンアウトして設立された細胞治療製剤の開発会社です。

innovacell



左：ノビック・コーリン氏、右：シーガー・ジェイソン氏

ノビック・コーリン 代表取締役Co-CEO シーガー・ジェイソン 代表取締役Co-CEOからのメッセージ

代表取締役Co-CEO ノビック・コーリン

1981年生まれ（44歳）、韓国出身、神奈川県育ち

米国コーネル大学卒業後、2007年にトーマツコンサルティング株式会社（現：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社）に入社。2012年には、特に再生医療分野に注力した薬事コンサルティング会社CJ PARTNERS株式会社をシーガー・ジェイソンと共に設立。2021年には、CJ PARTNERSのクライアント企業であったイノバセル株式会社の取締役に就任（翌年には代表取締役就任）し、以降、シーガー・ジェイソンと共に同社の臨床開発・事業開発の推進に従事。

代表取締役Co-CEO シーガー・ジェイソン

1982年生まれ（42歳）、香港出身、群馬県育ち

2007年に米国テンプル大学卒業後、トーマツコンサルティング株式会社（現：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社）に入社。2012年には、海外で開発された先端医療技術の国内導入促進と、国内で開発された優れた技術の海外展開支援を志し、特に再生医療分野に注力した薬事コンサルティング会社CJ PARTNERS株式会社をノビック・コーリンと共同設立。2021年には、CJ PARTNERSのクライアント企業であったイノバセル株式会社の代表取締役に就任。

ノビック/シーガー代表取締役Co-CEOからのメッセージ

この度藤野さん、松本さん、戸田さんをはじめとするレオス・キャピタルワークスおよびレオス・キャピタルパートナーズの皆様とのご縁をいただき、「ひふみクロスオーバーpro」を通じた投資を受けることができたことを、心より光栄にまた有難く思っております。イノバセルは、便失禁や尿失禁を治療することを目指して、筋肉を再生する細胞治療製剤の研究開発を進めている企業です。医師並びに医療従事者の皆さま、そして患者さまのご協力の下、切迫性便失禁を対象疾患とする細胞治療製剤の第Ⅲ相試験*（フェーズⅢ）を欧州及び日本において現在実施しております。

現在治療の選択肢が限られている患者さまに新たな“希望”となる再生医療・細胞治療を届けることこそ、私たちイノバセルの使命です。今回いただいたご支援を糧として今後も果敢に挑戦を重ね、革新的な医薬品をグローバルにいち早く届けられるバイオベンチャー企業を目指して努力してまいります。

*多数の患者さんを対象に、標準的な「薬」などと比較して有効性と安全性を確認する試験。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。



境界を越えて、
もっと、ずっとエールを。
さあ、解き放て、未来へ。

レオス・キャピタルワークスが運用する公募投資信託のリスク / 費用

価格変動リスク

国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

信用リスク

有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。

カントリーリスク （エマージング市場 に関わるリスク）

当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

未上場株式等への投資に関する主なリスク

投資事業有限責任組合を通じて実質的に未上場株式等に投資を行なうファンドでは、他の金融商品を組み入れた投資信託と比較して、加えて、主に以下のリスクがあります。これらのリスクにより、基準価額が大きく下落し、損失を被るリスクがあります。

- ・ 当該ファンドが実質的に投資する未上場株式等は、各銘柄の価格が各企業の個別要因やイベント（デフォルト、上場、M & A等）によって大きく変動し、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があるため、評価額が大きく変動し、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

- ・ 当該ファンドが実質的に投資する未上場株式等は流動性が著しく乏しいため、売却時に不利な価格での取引をせざるを得なくなるなど、流動性リスクおよび各種リスクの影響が大きくなる可能性があります。

- ・ 未上場株式等の評価額については、その時点で入手できる情報に基づいた公正価値の見積りであり、日々の投資信託の基準価額算出においては、影響を受ける可能性のある重要な事象を完全かつ正確に反映することが困難となります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

レオス・キャピタルワークスが運用する公募投資信託のリスク / 費用

お客様のご負担となる費用について

◆お客様に直接ご負担いただく費用

- 購入時手数料 上限 **3.30%**（税抜3.00%）※レオス・キャピタルワークスが直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
- 換金（解約）時手数料・信託財産留保額 ありません。

◆お客様に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 信託財産の純資産総額に対して 上限 **年率1.650%**（税抜1.500%）
- その他費用・手数料 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税等）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用（監査費用）およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。監査費用は日々計算されて、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

◆ご注意

- 記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。

設定・運用の詳細情報照会先：03-6266-0124（受付時間 営業日の9時～17時） <https://hifumi.rheos.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 投資信託のお取引は、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動を直接の原因として損失が生じることとなるおそれがあり、基準価額の下落により元本欠損が生じる可能性があります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なります。
- 当資料は、当社の商品をご理解いただくための情報提供資料としてレオス・キャピタルワークスが作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

作成：2025年8月

SBI証券からのご留意事項

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- ご投資にあたっては、商品概要や目論見書（目論見書補完書面）をよくお読みください。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

SBI証券

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、
一般社団法人 日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会